

6 学年 題材指導計画

きれいな響きでアンサンブルを楽しもう（5 時間扱い）

1. 題材のねらい

和声の美しさやいろいろな楽器の音色を生かした楽しさを感じて、美しい響きで歌ったり、合奏したりすることができるようにする。

きれいな響きになるように、演奏形態や楽器編成を選択し、工夫して表現することができるようにする。

2. 教材について

(1) エーデルワイス（ 阪田 寛夫 作詞，リチャード ロジャーズ 作曲）

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(1)ア，A(2)ア，A(2)イ，B(1)ウ

映画「サウンド オブ ミュージック」の中に登場する曲で多くの人に親しまれている曲である。3 拍子の流れを感じ取りやすく、軽快なリズムで進行していく。レガートな曲想がアルプスに咲く小さくかわいらしい花を効果的に表現している。そのようなことから歌詞の内容をよく考えた表情豊かな演奏の工夫を楽しんだり、曲想にふさわしい楽器を選び副次的な旋律を歌に合わせて演奏したりすることができる楽曲である。曲想の変化や旋律のまとまりを生かし、強弱や速度による表情の変化、独唱、斉唱、重唱などの様々な歌唱形態など、多彩な表現を工夫しながらアンサンブルの楽しさを味わわせたい。

(2) * 選択教材

失われた歌（ チャールズ チルトン 作曲）

メヌエット（ クリーガー 作曲）

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(1)ア，A(1)イ，A(2)イ，A(3)イ，B(1)ウ

この 2 つの楽曲は、イ短調の楽曲であり、失われた歌ではゆっくりとしたテンポの中に切なく寂しい雰囲気を感じられる曲であり、A，A'，B，A という展開が切なさを強調している。またメヌエットでは、同じイ短調の楽曲でありながら、優しさや開放感が感じられる曲になっており、2 つの楽曲は対比的な特徴を持っている。どちらもイ短調の視奏になれて表現を工夫するための教材として位置付けられている。一般的にはリコーダーでの二部合奏や二重奏が考えられるが、まず範奏を聴いた後、曲想の違いを感じ取らせたい。さらに、どちらかを選択してグループごとに重唱や合奏をまとめる活動を展開したいと考えている。イ短調独特の旋律の流れの美しさを感じ取って、表現の仕方を工夫するようにさせたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	様々な演奏形態による音の重なり合いに気付き、演奏を楽しんでいる。	曲想にふさわしい表現や美しく響き合う音を求めて、楽器選択や奏法を工夫している。	楽器の適切な扱い方、演奏の仕方を身に付け、美しく響き合う音を探りながら演奏している。	音色の異なった様々な楽器や声が重なり合った、多彩な音の重なりを響きを感じ取って聴いている。
学習 活動 にお ける 具 体的 評 価 規 準	<p>声や音の重なり的美丽な響きに関心をもち、意欲的に聴いたり表現しようとしていたりしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □多様な確かな聴き取り □よりよい表現へのアイデア</p> <p>人の声や楽器に興味関心をもち、豊かな表現になるよう、楽器や表現形態を選んだり、演奏したりすることを楽しんでいる。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □多様な楽器への関心と取り組み □曲想を生かした楽器や表現形態の選択</p>	<p>曲の構成や曲想を生かした演奏の仕方を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □対位的な部分と和声的な合唱の違いを理解し、演奏を工夫 声や楽器の音が響き合うよう演奏を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □音の重なりによる響きへの気付き 様々な楽器が重なって生まれる響きや楽器固有の音色の特徴を感じ取って、豊かな響きになるように演奏の仕方を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □楽器固有の音色の特徴をとらえ、発表 □楽器の音色の特徴を生かした演奏の工夫</p>	<p>八長調、イ短調の読譜に親しみ、視唱している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □イ短調の雰囲気のとらえ □イ短調の正確な読譜 音の重なりや和声の響きを感じ取り、テンポや強弱などに気を付けて演奏している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □音がきれいに響き合うよう気を付けて演奏 □テンポや強弱に気を付けた正確な演奏 □表現形態のよりよい工夫</p>	<p>様々な演奏形態の中で、個々の楽器の音色や音の重なりによる美しい響きを感じ取りながら、友達の演奏を聴いている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 □個々の楽器の音色についての明確なとらえ □様々な演奏形態や楽器の音の重なりによる響きへの気付き</p>

4. 指導と評価の計画(5時間扱い)

: 取り扱い項目

取り扱い重点項目

時	主な学習内容	の 評価 規準	指導要領 との 関連	内容のまとめり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>【エーデルワイス】</p> <p>範唱CDを聴いて、曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴いた感じを発表する。 ・パートごとに練習し、二部合唱する。 ・ソプラノとアルトの音程を確かめながら歌う。 ・自分の声の特徴を生かし、希望でパートに分かれて合唱をする。 <p>範唱CDを聴いて、曲の構成をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対位的な合唱の部分と和声的な合唱の部分の違いを感じ取る。 ・曲の構成による合唱の響きの違いに気づきながら歌う。 	ア -	A(1)ア					発表 学習カード
		ア -	A(1)ア					行動観察
		イ -	A(2)ア					歌唱聴取 学習カード
2	<p>リコーダーで旋律を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソプラノとアルトの音程を確かめながら練習する。 ・音の重なりがきれいに響くように演奏の仕方を工夫する。 <p>小グループでアンサンブルの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～5人の小グループを作り、歌唱や楽器演奏など演奏形態をどうするか話し合う。 ・曲の感じにふさわしい演奏形態を選んだり、演奏の仕方を工夫したりしながら練習する。 ・互いに発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルの中で音がきれいに響き合うように気を付けて演奏する。 ・それぞれのグループの演奏形態や奏法の工夫に気づきながら、友達の演奏を聴く。 	イ -	A(2)イ					演奏聴取
		イ -	A(2)ア					行動観察 学習カード
		ウ -	A(2)イ					演奏聴取
		エ -	B(1)ウ					学習カード

3	<p>【選択教材 失われた歌 / メヌエット】</p> <p>範奏CDで2曲聴き，曲想にふさわしい楽器の選択，表現の工夫に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの演奏に生かせるよう曲想をとらえたり，楽器の音色に気を付けたりしながら，範奏を聴く。 	ア -	A(1)ア				学習カード
	<ul style="list-style-type: none"> ・短調の雰囲気を感じながらイ短調の読譜をする。 <p>自分の取り組みたい曲や楽器を選択し，各パートに取り組む。</p>	ウ -	A(1)イ				行動観察 学習カード への記譜
	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みたい曲を選び，グループで話し合っ楽器を選ぶ。 ・曲想に合う楽器を選択したり，パートごとの人数を考えたりしながら，曲想にふさわしい表現になるよう工夫し合う。 	イ -	A(2)イ				行動観察
4	<p>楽器の音色や重なり合う響きを聴き合って，バランスのよいアンサンブルを工夫する。</p>						
	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに聴き合って，曲想に合った表現になるよう，工夫した演奏になっているかアドバイスし合い練習する。 	イ -	A(2)イ				発言
	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を生かし，音の重なりが美しく響きあうよう仕上げる。 <p>発表し合い，互いのよさを見つけ合う。</p>	イ -	A(2)イ				演奏聴取 行動観察
5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに表現形態や工夫したことについて説明した後，発表する。 	ウ -	A(3)イ				演奏聴取 学習カード
	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や音の重なり，表現の工夫に気付きながら聴く。 	エ -	B(1)ウ				学習カード